

# コロナ禍のごみは・・・プラスチックごみは・・・

新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言や自粛要請などで、これまでとは違う日常になっています。今後も感染症だけでなくそれに伴う影響で様々な混乱がおきることが予想されます。今回は生活様式の変化の中で、コロナ禍でのごみの様子取材しました。また、増え続けているプラスチックごみ（プラごみ）の現状についても報告します。

## 家庭ごみは増加しています

2020年緊急事態宣言が発令された4月、5月は前年より10%くらい増加しました。

その要因は・・・

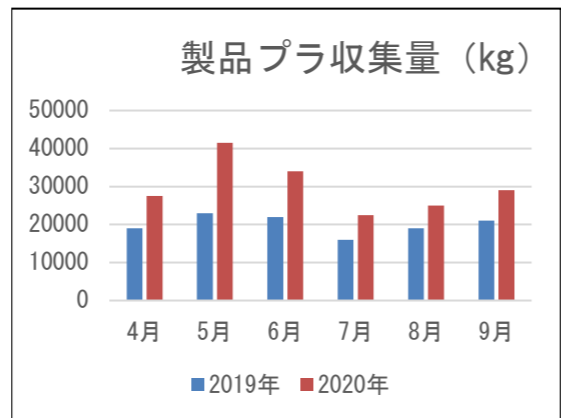
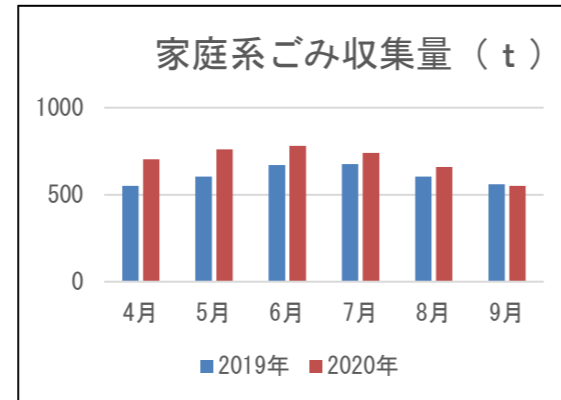
- ・マスク、ティッシュなどの衛生用品の増加。
  - ・家の片づけごみ（衣類、玩具、家具、家電、雑貨）。
  - ・ステイホーム等でデリバリー、テイクアウト利用で使い捨て食器、缶、ビン、ペットボトルが発生。
- \*特にプラスチックごみでは、容器包装プラも製品プラも顕著な増え方をしています。

## 事業ごみは減少

一方で事業ごみは30%減少しました。

その要因は・・・

- ・観光客の減少
- ・営業時間の短縮、休業
- ・イベント、行事の中止  
などが考えられます。



2020年9月まで/鎌倉市

## 資源ごみも増加

家庭ごみのうち、資源ごみも増加しています。宅配の増加からか段ボールは20%、衣類を中心にした布類は10%ほど増えています。

\*布類については2020年、各国のロックアウトなどで輸出規制がとられ、売却が困難に。中間取り扱い業者で布類処理が追い付かなくなりました。そのため、市は排出を控えるよう呼びかけています。

\*市内の中古品取扱店では・・・

「去年の4~6月は特に多かったですね」  
「衣類、家具、家電、玩具、本、ゲームなど持ち込まれました」  
などの声がきかれました。

取材協力：鎌倉市 ナカノ株式会社 ハードオフハウス

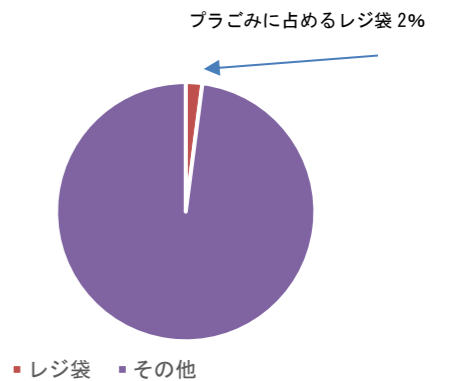
## 鎌倉市より市民の皆様へお願い

- ・家庭ごみの排出が増えています。収集は通常通り行われていますが、急ぎでない排出は避け、なるべくごみを出さない生活を心がけてください。
- ・感染予防のため、ごみに直接触れないでください。
- ・ごみ袋の空気はぬき、しっかりしばりましょう。
- ・ごみを捨てたあとは手を洗いましょう。

\*町中にごみが散らかっています。マスクやティッシュ、ハンカチなど責任をもって片付けましょう。

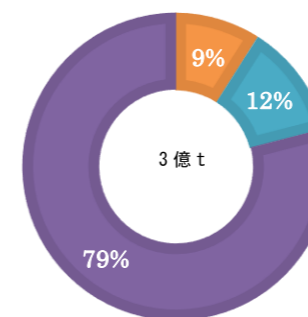
## プラスチックごみの今

- 2020年プラごみ削減宣言⇒レジ袋有料化、ペットボトルやストローの使用の見直しがされました。
- プラごみ排出量903万トン（2017年環境省）で世界第2位の日本は、2030年までにプラごみ30%削減を宣言しました。
- ところが、2020年コロナ禍ということもあり、プラごみ収集量は増加しました。鎌倉市でも10%ほど増えています。
- 収集したプラごみのゆくえは下記のようになっています。



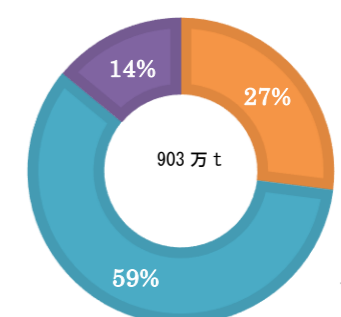
## 世界

リサイクル 焼却 埋立て



## 日本

リサイクル 焼却 埋立て



(日本では、焼却にサーマルリサイクルも含まれる)

資料：プラスチック循環協会 2017年

- 処理されずに放置、ポイ捨てされたプラごみは町から川へ流入し、生態系にダメージを与えています。

## あなたの近くでも気づかぬうちに流出しているプラごみ・・・



使い捨てられたビニール紐



カラスに破られたごみ袋



劣化した駐車場の土壌



公園の人工芝

- プラごみは海洋ごみの65%を占め、長い年月、海に漂い続けていくことになります。
- 世界の海でプラごみは800万t/年も流入し、2050年には魚の量を超えると警告されています。
- プラは原料の合成や可塑剤など添加物の混入でリサイクルは極めて困難。プラごみ削減にはまずリデュース！ 使い捨てプラやプラ製品の使用を見直しましょう。